

## 73 ボランティアの井戸端会議

### 【き】 いつも楽しいハートランド(東播磨)をめざして

平成13年度から、東播磨地域ビジョン委員会の活動として、いつも楽しいハートランド(東播磨)をめざして、ハートランドぐり石ネットの活動を始めました。

### 【概】 ボランティアの井戸端会議-パワーアップ 2004の開催

平成16年3月7日(日)、加古川市総合福祉会館で、ボランティア活動を進める人や、これから活動に一步踏み出したと思っている人たちが集まって、活動の悩みや課題などを話し合うボランティアの井戸端会議を開催しました。

「市民参加のまちづくり」「ボランティアのネットワークづくり」「子育て支援活動」「肩書きのない人生」「青少年育成活動」「環境問題」の6つのテーマに分かれ、参加者のみなさんが自分の関心のあるテーマについて、コーディネーターの体験談をプレゼンの後、積極的に話し合いました。

### 【成】 参加者も私たちもやる気をかきたてられました

「行政に任せるのではなく、自分たちで地域づくりをしよう」とか、「会社人間では駄目で、地域でできることを見つけよう」とか、活発な意見交換がなされ、参加者の方たちは充実した時間を過ごされました。また、会議の運営をしていた私たち自身も、ますます地域づくり活動に対する思いを強くしました。

### 【夢】 中間支援組織として

これまで東播磨地域ビジョン委員会として活動を続けてきましたが、このたび東播磨の地域づくり活動サポーター事業の委託を受けました。この事業をはじめ、中間支援組織として、地域で必要とされるサービスの需要と供給をつなぎ、地域を元気にするお手伝いをしたいと思っています。



井戸端会議の開催



テーマ別分散会

### 73 ハートランドぐり石ネット

代表者氏名:平山彰  
活動地域:東播磨地域全域  
事務所等:加古川市加古川町寺家町天神  
木97-1  
電話番号:0794-21-1101(内線306)  
FAX番号:0794-24-9977  
ホームページ:  
<http://heartland-net.jp/heart.html>

組  
とも  
んだ  
に  
取  
り  
等

### 神鋼のじぎく会 (OB会)

地域活動に目を向け、自己実現に役立てようとしていた同会と協働で、参加者を集めました。

### 活用した支援

地域づくり活動応援事業 (兵庫県)



## いきなりテーマ別分散会

フォーラムといえば、はじめに基調講演があり、その後意見交換やパネルディスカッションがある、というのが普通の形だと思います。

私たちは今回、そのような形式を採らず、いきなりテーマ別に分かれての分散会を開催しました。それによって、参加者は最初から自分の興味のあるテーマについて思いきり本音で議論することができました。後で感想をお伺いしても、それが良かったと言う参加者は多くいらっしゃいました。



## 人を呼ぶには、熱い思いが大事

平成15年度に井戸端会議を開催したときは、参加者は行政を通じて呼びかけた人たちが中心でした。そのときには、意見交換はそれほど活発ではありませんでした。

平成16年度は、メンバーが「1人10人を集めよう！」を合言葉に、自分の足でボランティア活動に興味がありそうな人たちを探し、集めました。また、コーディネーターについても、自分たちが「もう一度あの人の話を聞いてみたい！」「あの人の話を聞けば参加者から参考になったと言ってもらえる人」を探し、お願いしました。

そのかいあって、参加者も昨年の60人程度から140人へと大幅に増え、コーディネーターや参加者同士が積極的に意見を交わす素晴らしいイベントになりました。



## 1泊2日の本音トーク研修

グループ結成当時、メンバーの意見がなかなか合わず、本当にこれでやっていけるのかどうか不安でした。

そこで、講師を招いて1泊2日の研修会を行いました。講師の方にまず本音で話すことがどれだけ大切かということをお教えいただき、その上で、みんなで「自分が何をしたいのか」「地域をどんな風にしたいのか」ということを徹底的に話し合いました。

それがきっかけとなってメンバー間の絆が深まり、お互いに本音でぶつかりあいながら、活動を進めていけるグループになりました。

**求ム!**

ぐり石ネットは、石垣を支える「ぐり石」のように、地域の中で必要とされるサービスをつないでいきます

東播磨に在住の方、勤務されている方で、ぐり石ネットの活動に参加してみようと思われる方！ぜひご連絡ください。お待ちしております。

## 読者の皆さんへのメッセージ

地域活動は、“自らが源泉”（主体的に自分から行動する）の考え方や、情熱が必要だと考えています。

2007年問題（団塊の世代が定年退職を迎える時期）を地域づくりの視点から、自己実現とその能力が活かされる方向に向かって、新しい働き方を見つけましょう。

積極的なご提案をお待ちしています。